




平成29年度地域づくり人材養成講座・みのかも市民サポートセンター講座
 「誰もが主役・地域を話そう「かも楽塾」 第4回ワークショップ開催概要

日 時	平成29年6月27日(火) 13:30~15:30
場 所	美濃加茂市生涯学習センター 203号室
アドバイザー	岐阜経済大学准教授 菊本 舞 先生
コーディネーター	コミュニティ診断士 平 孝明 氏
運営サポート	コミュニティ診断士 今尾 ひな子 氏 コミュニティ診断士 坂本 由貴 氏
受講者	20名
主催者	岐阜県環境生活部県民生活課 美濃加茂市市民協働部地域振興課・みのかも市民活動サポートセンター
内 容	<p>◆開会</p> <ol style="list-style-type: none"> 挨拶(美濃加茂市市民協働部地域振興課長) 指導者・助言者紹介 <p>◆ワークショップ</p> <p>「<u>人々をつなぎ、「絆」を結ぼう</u>」をテーマに、具体的に「絆」を形にできるような企画書を作成しました。</p> <p>今回は、第3回までに出てきたキーワード「高齢者×子ども」「平成×昭和」「居場所×孤立」の3グループに分かれ話し合いを行いました。</p> <p>○A「高齢者×子ども」グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者：川合西健寿会(※1)と伊深小学校の学童のメンバー →共に活発な活動をしている 時 期：春休み 内 容：チャレラン(※2)を実施 その他：司会は今尾ひな子さん、講評を菊本舞先生にお願いしたい！ 次回の打合せ日も決定。実施に向けて動き始めている (※1)美濃加茂市の老人クラブ (※2)チャレンジランキングの略。身近にあるものを利用した簡単な遊びに、記録で挑戦すること。NPO法人日本子どもチャレンジランキング連盟が総括している。  <p>○B「平成×昭和」グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎平成と昭和では、隔たりがある →お互い歩みより、学び合うことが必要 対象者：昭和から平成世代(多世代交流) 時 期：お休みの日 内 容：参加者が材料を持ち寄り中之島公園でバーベキュー →火おこしや材料の下ごしらえなど、準備を通じて学び合いや交流を実施 金 額：いろんな世代に参加してほしいという思いから、ひと家族〇円など、家族単位で徴収  <p>○C「居場所×孤立」グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎心が通う人を見つける。言いにくいことでも言えるような仲間づくりが必要 実施者：自分(1人1人が行うことが大切) 実施する理由：地域社会のために 時 期：すぐ開始 ただし急に意見を言ったら、相手も困惑するため、 機会があるごとに少しずつ関係を深めていく必要がある 



<坂本さんのコメント>

- 絆づくりは、顔を合わせることから始まるという意見が出ていたが、まさにその通りだと思う。

<平さんのコメント>

- 本質を見失わず、自発的に議論ができていた
- Aグループ：「つなぐ」がポイント。つなぐ場を作り、キープすれば、イベントは自ずと創出される。
- Bグループ：歩みよることが大切。バリアを取り合外し、歩みより理解しようとする必要がある。
- Cグループ：心が通う人を見つけることが大切。居場所は地理的な場所ではなく、ソフト面・心理面の場所として捉えた意見が出ていたのがよかった。



<今尾さんのコメント>

- 参加者の皆さんが、ワークショップに慣れている感じがした。地域に対する熱い思いが内面からにじみ出ているからではないか。

<菊本先生のコメント>

- 具体的な企画のアイデアがきちんと形となって出てきたことはすばらしい
- 今すぐにでもA・Bグループは動きだせそう。Cグループについては抽象的だというもの、孤立している人に対して働きかける準備ができている。

